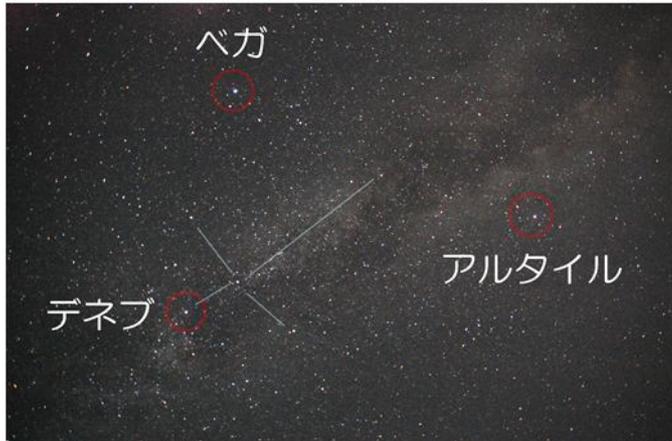


「天の川と暗黒星雲 (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北軽井沢の魅力の一つは、星空の美しさである。関東地方で、肉眼で天の川がはっきりと見える土地は数少ないが、北軽井沢はその一つである。月のない晴れた日なら、牧草地の道に行けば、間違いなく天の川を観望できる。(写真は北軽井沢・撮影; C.Tanaka)



見える。天の川は、我々の住む銀河系を「内側から横に見た」姿だ。土星の輪を土星から見る・・・というイメージだ。当然恒星が密集しているわけだが、その手前に光(可視光)を発しない「暗黒星雲」があると、そこは天の川の光が遮断され、黒く見えるわけだ。



天の川の観察を続けて、目が慣れてくると、天の川に濃淡があることに気づく。たとえば、夏の大三角付近の天の川では、1本の光の筋ではなく、2本の筋に

上の写真のようにコントラストを上げるとよくわかる。デネブ付近にある暗黒星雲は「石炭袋」と呼ばれる、大規模な暗黒星雲である。

